

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所〔担当：皿海・澤村〕

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和8年度 病害虫発生予察情報 注意報第2号

令和8年7月22日

島 根 県

果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、カキ、ナシ、スモモなどで被害が拡大する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

記

- 1 病害虫名 果樹カメムシ類
- 2 作物名 県内カキ、ナシ、スモモ栽培地帯
- 3 発生時期 7月中旬～
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発表の根拠
 - 1) 予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの4月～7月第3半旬までの累積誘殺数は、2479頭（平年値1348.6頭）と平年に比べてやや多く推移している。また、7月第3半旬の3種カメムシ類の予察灯での誘殺数は、456頭（平年値189.2頭）と増加傾向にある（図1）。
 - 2) チャバネアオカメムシ集合フェロモントラップ（出雲市）の4月～7月第3半旬までの累積誘殺数は、2357頭（平年値400.1頭）と平年に比べてやや多い（図2）。
 - 3) 予察灯における3種カメムシ類の4月～7月第3半旬までの種類別誘殺数は、チャバネアオカメムシ1575頭（平年値540.6頭）、クサギカメムシ368頭（平年値165.9頭）、ツヤアオカメムシ536頭（平年値641.2頭）とチャバネアオカメムシ（図3）の割合が高い（図4）。
 - 4) 7月中旬の巡回調査ではカキでの被害は確認されていないが、県予察ほ場や一部生産者ほ場で被害が確認された。今後カキや無袋栽培のナシなどで被害が拡大する恐れがある。なお、有袋栽培のナシでも果実の肥大にともない果実袋を通して加害される恐れがある。
 - 5) 1か月予報（7月16日広島地方気象台発表）によると、向こう1か月の気象は本種の発生に助長的であり、被害が増加する恐れがある。
- 6 防除対策及び防除上の注意事項
 - 1) 山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
 - 2) 薬剤の使用に当たっては、ラベルを確認し、使用回数、濃度、使用量及び使用時期を遵守する。
 - 3) ナシ（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。カキでは果実被害の有無に十分注意して摘果作業を行う。
 - 4) 最新の農薬登録情報は、農林水産省農薬登録情報提供システムで確認する。
(URL <https://pesticide.maff.go.jp/>)

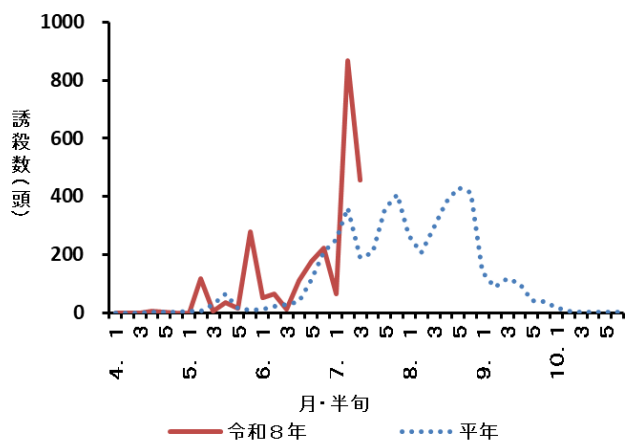


図1 予察灯における果樹カメムシ類
3種の誘殺消長（令和8年）

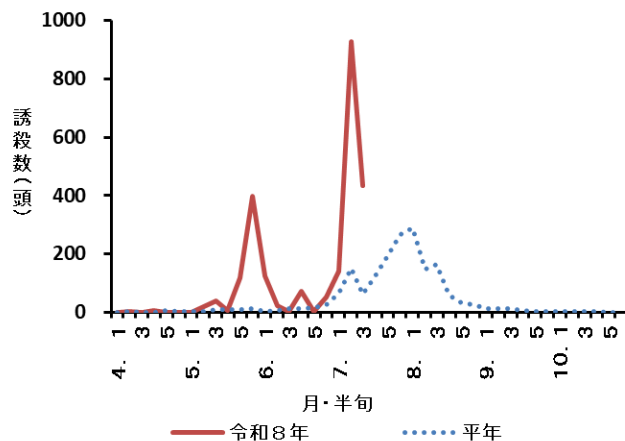


図2 集合フェロモントラップにおける
チャバネアオカメムシの誘殺消長（令和8年）



図3 チャバネアオカメムシによる被害
赤枠は口針鞘（吸汁痕）

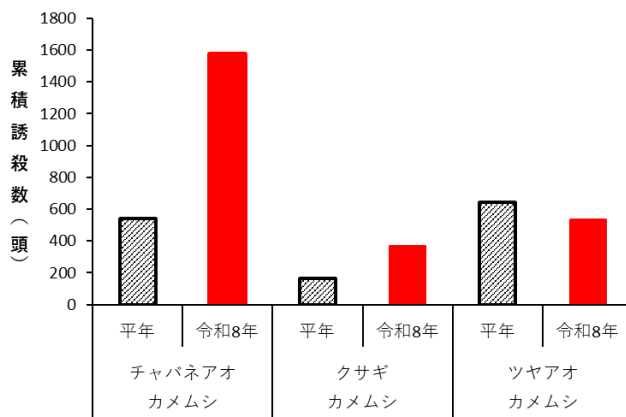


図4 予察灯における果樹カメムシ類3種の種類別誘殺数
（4月第1半旬～7月第3半旬）

島根県病害虫防除所

（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町 2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/